

# (小学生・歩行者)どうろのあんぜんなあるきかた 指導者ガイド

ねらい	小学校低学年の児童は、保護者から離れて友達同士や一人で行動する機会が増え、活動範囲も広がります。「小学生・歩行者」の項目では、児童に「道路を歩いている時や横断する時には、どんな危険や事故が起こり得るのか?」「それらの危険を回避して、道路を安全に歩くためにはどうすればよいのか?」を動画で理解させつつ自ら考えさせることで、危険を予測して回避する意識・能力を高め、歩行中の事故防止を図ります。
場面	この指導者ガイドは、以下の場面を使用した学習に対応しています。 1. しんごうのあるおうだんほど 2. しんごうのあるこうさてん 3. しんごうのないおうだんほど 4. しんごうのないこうさてん
備考	▶ 場面ごとに、「あぶない ばめん」と「あんぜんな とおりかた」の2本の動画が用意されています。 ▶ 動画を視聴した後、ワークシートを使用して意見を書かせることで、自ら考える学習ができます。

## 学習の進め方(展開例)

内容・手順	留意点
<b>【準備】</b> ▶ 実施方法について検討する <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校で実施：1台の端末で「交通安全オンライン教室」にアクセスし、映像をプロジェクター・モニタへ出力したものを視聴するか、児童に配布した端末で個々にアクセスさせる</li> <li>● 自宅で実施：児童に「交通安全オンライン教室」のURLを案内しておく ※この展開例では学校での実施を想定</li> </ul> ▶ 実施する場面(テーマ)を選定する ▶ ワークシートに手書きで回答させたい場合は、あらかじめワークシートのPDFをダウンロードし、児童数分を印刷しておく	▶ Wi-Fiへの接続等、インターネット環境を確認しておく ▶ 個々にアクセスさせる場合は、当日スムーズに開始できるよう、事前にURLの共有・接続方法等を確認・検討しておく ▶ 場面は特定の一つに絞っても、複数の場면을連続して実施してもよい ▶ ワークシートを使用せず、意見を考えさせて発言させる方法でもよい
<b>【導入】</b> 1. 普段、道路を歩いている「ヒヤッとしたこと(曲がり角から自転車が出てきてぶつかりそうになった、止まっている車が急に動き出して驚いた、等)」を聞き、道路では危険があることについて問題意識を持たせる。 2. そのような危険の中には、交通事故という命や重大なけがにつながるものもあることを説明し、それらに遭わないよう、自分で自分の命を守るための時間であることを理解させる。 3. 動画を使用して学習するが、受動的に観るだけでなく、考え(意見)を聞く時間もあることを説明する。 4. 必要に応じて、基本的な交通ルールや小学生が歩行中に多い事故、学校近辺での事故・ヒヤリ事例について説明する	▶ 場面は特定の一つに絞っても、複数の場면을連続して実施してもよい ▶ 交通ルールや事故についての座学パートは、学外の専門者に依頼してもよい
<b>【学習】</b> 1. これから観る交通場面について、概要を説明する 2. 最初に観るものは「その交通場面において想定される危険・事故の例」であることを説明する 3. 「あぶない ばめん」を視聴する 4. ワークシートのしつもん1について考えさせる(どうすれば あんぜんに わたることができるのかな?) 5. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる 6. 次に観るものは「先の動画で観たような危険に遭わないための正しい通行方法」であることを説明する 7. 「あんぜんな とおりかた」を視聴する 8. ワークシートのしつもん2について考えさせる(これから どうろを あるくときは、どんなことに きをつけようと おもいますか?) 9. 代表者を指名し、考えた意見を発表させる	▶ 「横断歩道がありますね」「信号はあるかな?」等、具体的にどのような場所なのかを分かりやすく説明し、想像させる ▶ 1回の再生だけでは伝わりづらい場合、状況を説明しながらもう一度再生してもよい ▶ 代表者に発表させる場合は、時間があれば何名かに発言させ、共通する意見や、特徴的な意見が出た場合はそれに触れてもよい ▶ 時間があれば「他にもどのような危険が考えられるか」について、考える時間と発表の時間を設けてもよい
<b>【まとめ】</b> ▶ 学習内容を振り返り、道路を歩く際に実践するよう伝える	

## 各場面の内容詳細

場面(テーマ)	動画で発生する危険	指導のポイント
1. しんごうのあるおうだんほどう	<p>(あぶない ばめん)</p> <p>1. 青になってすぐに渡ろうと歩き始めたところ、自転車が目の前を通り過ぎる</p> <p>(あんぜんな とおりかた)</p> <p>1. 横断中、左側に止まっている車の陰から、信号無視をした自転車が出てくる</p>	<p>➤ 青になってもすぐに渡らず、周囲から何か来ないか、安全を確かめてから手をあげて渡り始める</p> <p>(横断中のポイント)</p> <p>➤ 渡っている間も、止まっている車の陰から別の車や自転車・バイク等が突然出て来る危険を予測し、死角から何か出てこないか注意し、左右の安全を確かめながら渡る</p> <p>➤ 車が止まってくれていても、ドライバーと目を合わせてアイコンタクトをする(相手が自分を見てくれているかを確認する)</p>
2. しんごうのあるこうさてん	<p>(あぶない ばめん)</p> <p>1. 青信号なので渡ろうとすると、後ろから曲がってくるトラックに巻き込まれそうになる</p> <p>(あんぜんな とおりかた)</p> <p>1. 青信号で渡る前に後方の確認をすると、前と後ろから、車が曲がってこようとする</p>	<p>➤ 交差点では、左右からの車等だけではなく、前後から右左折で曲がってくる車がいることに注意し、横断前・横断中は前後の安全を確認する(特に、後ろはしっかりと振り返って見る)</p> <p>➤ 信号交差点で青信号で横断する場合でも、危険が全くないわけではなく、自分に気づかず車が右左折してくる危険があり、道路ではいつどのような場所でも安全を確認しながら歩くことが重要であることを理解する</p>
3. しんごうのないおうだんほどう	<p>(あぶない/あんぜん 共通)</p> <p>1. 横断途中で、止まってくれている右の車の陰からバイクが飛び出す</p> <p>2. 横断の最後、止まってくれている左の車の陰から自転車が飛び出す</p>	<p>➤ 手をあげて「渡りたい」と意思表示する</p> <p>➤ 車が来ている場合は、無理に渡り始めず、止まってくれるのを待つ</p> <p>➤ 手をあげて待っていても、ドライバーが気づかず必ずしも止まってくれない可能性もある</p> <p>➤ 車が止まってくれても、その後ろ(陰)から別の車や自転車・バイク等が突然出て来る危険を予測し、油断せず死角から何か出てこないか注意し、左右の安全を確かめながら渡る</p> <p>➤ 止まっている車や街路樹・工作物等により道路がよく見えないところでは、車やバイクのドライバー(相手)からも自分が見えていない可能性があるため、自分が気をつける</p> <p>※横断中のポイントは1.と共通</p>
4. しんごうのないこうさてん	<p>(あぶない ばめん)</p> <p>1. 交差点で飛び出したところ、右から来た車とぶつかりそうになる</p> <p>(あんぜんな とおりかた)</p> <p>1. 一度止まって安全確認をすると、右から車が来る</p> <p>2. その後また右から車が来るが止まってくれる</p> <p>3. 左から車が来て止まる</p> <p>4. 右の車の陰からバイク</p> <p>5. 左の車の陰から自転車</p>	<p>➤ 道路の横断時や交差点では、絶対に飛び出さず、必ず一度止まる</p> <p>➤ 建物や塀・生垣等がある場所では、左右から車等が来ているか分からないため、止まった後は物陰を覗き込むようにして安全を確認する</p> <p>※横断中のポイントは1.と共通</p>

こちらから「交通安全オンライン教室」の動画ページにアクセスできます

<https://ts-online.jatras.or.jp/e-walk>